

# 比角校だより

平成 23 年 6 月 17 日  
第 3 号

みんなちがって みんないい ～自分の番～

校長 小暮 哲郎

当校の教育目標は、「いのちを大切にし やりぬく子」です。何十年も前からこの教育目標は受け継がれてきています。人間や動物、植物など生きているもの全てに命があります。

自分の今の命からさかのぼって、いったい何人の命が今の自分の命にかかわっているのか考えてみました。自分を 10 才とし、親の年齢を 40 才と想定して考えたものが下記のものです。

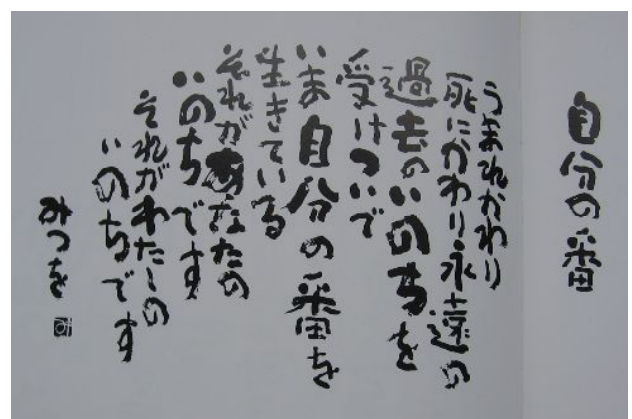
1048576	20代前	610年前	(室町時代)	512	9代前	
524288	19			256	8	
262144	18			128	7	
131072	17			64	6	
65536	16			32	5	
32768	15			16	4	130年前
16384	14			8	3	100
8192	13	400年前	(江戸時代)	4(祖父母)	2	70
4096	12			2(父母)	1代前	40
2048	11			1(自分)	・	10才
1024	10					

130年前の明治時代初めには、16人の命がかかわっています。400年前の江戸時代初期には8192人の命が、610年前には1048576人の命がかかわっていることとなります。どんな人だったのか興味が湧いてきますね。

右の「自分の番」という詩は、相田みつをさんの詩です。「自分も友達も、生き物すべてを大事にしてほしい。縁あって今出会い、一緒の時代を生きているのだから。」というメッセージが込められていると思います。

当校には、今615人の子どもたちがいます。この615人が、まさに今自分の番を生きているのです。縁あって今、同じ比角っ子として学校生活を送っています。不思議な感じがします。縁としか言いようがありません。

一人一人顔も違えば、性格や個性も違います。人と競争して一番を目指す教育では、成就感や達成感を持てるのは一人しかいません。それぞれの自己新記録を認め合うことにより、全ての子どもが成就感を持つことができます。成就感の積み重ねにより、自分に自信を持てるようになり「自分が好き」な子どもに育ちます。また、自分と同じように友達を大切にすることにもつながってきます。一人一人の子どもと向き合い、その子に応じた支援・指導をし、よさを伸ばす必要性を強く感じています。ご家庭では、子どもさんを「しかるよりほめる」ことを大切にしていただければありがたいと思います。



# ◆◆ 学校生活スナップ ◆◆



## 【6年生】

(左) 水泳学習に備えてプールをきれいに掃除してくれました。

(右) 遠足で八石山に登ってきました。



## 【5年生】

(左) 総合学習で里芋を植えました。食をテーマに学習します。

(右) 遠足で御野立公園へ行ってきました。



## 【4年生】

(左) 遠足で藤井堰まで行ってきました。

(右) 習字の学習をしています。筆でひらがなを書くのはなかなか難しいです。

**【3年生】**  
 (左) 総合学習でえんま市の探検に行ってきました。  
 (右) 遠足で夢の森公園へ行ってきました。



**【2年生】**  
 (左) 遠足で番神海岸へ行ってきました。  
 (右) 生活科で野菜を育てています。収穫が楽しみです。



**【1年生】**  
 (左) 遠足で赤坂山公園へ行ってきました。  
 (右) 生活科でヤギの飼育を始めました。

